

1 目的

愛知県名古屋飛行場における航空機事故の発生に際し、搭乗者を救助するための最大の支援体制を確保するとともに、飛行場内外の関係機関が相互に連携し、必要な連絡、消火活動、人命救助及び医療救護活動、各種規制等の習熟を図る。

2 実施日時

令和 6 年 10 月 24 日（木）午後 2 時 40 分から午後 4 時まで
（通報訓練は午後 1 時 45 分から実施予定）

3 実施場所

愛知県名古屋飛行場エプロン地区（スポット 8（一部）、9 及び 12 番）等

4 主催

愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会

5 訓練機関

飛行場管理者 愛知県都市・交通局航空空港課名古屋空港事務所、
名古屋空港ビルディング株式会社(指定管理者)

公 的 機 関 国土交通省大阪航空局関西空港事務所、
航空自衛隊小牧基地

愛知県、名古屋市、春日井市、小牧市、豊山町、
愛知県警察本部、愛知県西枇杷島警察署

消 防 機 関 西春日井広域事務組合消防本部、春日井市消防本部、
小牧市消防本部、名古屋市消防局、豊山町消防団

医 療 機 関 公益社団法人愛知県医師会、日本赤十字社愛知県支部、小牧市民
病院、春日井市民病院、独立行政法人国立病院機構名古屋医療セン
ター、愛知医科大学病院、独立行政法人地域医療機能推進機構中京
病院、愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院、名古屋掖済会
病院、名古屋市立大学附属西部医療センター、
西名古屋医師会、一般社団法人小牧市医師会、一般社団法人春日井
市医師会、一般社団法人岩倉市医師会、名古屋市北区医師会、名古
屋市守山区医師会、愛知県歯科医師会

そ の 他 機 関 株式会社フジドリームエアラインズ、三菱重工業株式会社小牧南
工場、飛行場救難救助隊（飛行場内事業者で組織）

6 協力機関

公立春日井小牧看護専門学校、愛生会看護専門学校 計 70 名程度。

7 想定

A B C D 航空、999 便、エンブラエル 170 型機は、滑走路から着陸したが、着陸の際横風にあおられて滑走路を逸脱して停止し、着陸後に右翼エンジンから出火した。機内には煙が充満しており、乗員、乗客に多数の負傷者が出た模様である。

【気象状況】

風向（南東）、風速（4 m/s）、視程（25 km）、天候（曇り）、気温（16℃）

【模擬乗員、乗客】看護学生及び模擬患者人形を使用予定。

【通報内容】

航空自衛隊小牧管制隊から愛知県名古屋空港事務所、小牧基地へ通報。その後、愛知県名古屋空港事務所は関係機関へ必要事項を通報する。

8 実施項目

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (1) 通報訓練 | (9) 救護地区活動訓練 |
| (2) 現場指揮本部の設置及び運営訓練 | (10) 救助隊員輸送訓練 |
| (3) 合同対策本部の設置及び活動訓練 | (11) 担架搬送訓練 |
| (4) 消火活動訓練 | (12) 負傷者搬送訓練 |
| (5) 救助活動訓練 | (13) ヘリコプターによる負傷者搬送訓練 |
| (6) 避難誘導訓練 | (14) 検視・検案活動訓練 |
| (7) トリアージ地区及び救護地区設置訓練 | (15) 警戒警備及び交通規制訓練 |
| (8) トリアージ地区活動訓練 | |

9 訓練の流れ（予定）

時間	内 容	主な実施機関
13:45	(通報訓練)	名古屋空港事務所、航空自衛隊小牧基地・小牧管制隊等
14:40	総合訓練開始宣言	名古屋空港事務所
14:41	航空機発災	名古屋空港事務所
14:43	初期消火活動開始	航空自衛隊小牧基地、三菱重工業(株)小牧南工場
14:45	消火活動開始	航空自衛隊小牧基地、三菱重工業(株)小牧南工場、各消防機関消火隊
14:46	救急・医療救護活動開始	各消防機関救急隊、愛知県医師会、日本赤十字社愛知県支部、小牧市民病院、DMAT指定医療機関、地区医師
14:55	消火活動終了	
14:55	救助活動開始	航空自衛隊小牧基地、各消防機関救助隊 等
14:55	トリアージ活動開始	各消防機関トリアージ隊
15:00	負傷者担架搬送・誘導開始	飛行場救難救助隊 等
15:18	負傷者救急車搬送開始	各消防機関救急隊
15:25	遺体搬送開始	航空自衛隊小牧基地
15:45	負傷者ヘリ搬送開始	名古屋市消防航空隊
15:50	訓練終了宣言	名古屋空港事務所
15:53	(集合) 挨拶、講評	西春日井広域事務組合消防本部、愛知県医師会
16:00	解散	